

# 投光器 学習版

国労東海貨物協議会  
2013年7月10日 No.37  
発行責任者 鈴木 和巳

## これじゃ生活できないよ!

本日は夏季手当の支給日となりました。予測はしていたものの明細をもらってビックリしている社員も多いと思います。青年社員から嘱託社員までの誰もが不満を持つ今回の夏季手当には怒りを覚えます。

青年社員の中にはアルバイトでもして何とか乗り切ろうと思っている社員も多いと思われませんが、本質を見失わないでほしいと思います。緊急避難的にアルバイト等で生活費を稼ぎたい気持ちは解かりますが、あくまで本業で生活できる状況を作り出すことが大切です。

### JR各社の夏季手当

JR北海道	2.13ヶ月	7/4支払い
JR東日本	2.85ヶ月	6/28支払い
JR東海	2.95ヶ月	6/28支払い
JR西日本	2.69ヶ月	6/28支払い
JR四国	2.19ヶ月	7/5支払い
JR九州	2.50ヶ月	6/28支払い
JR貨物	1.10ヶ月	7/10支払い

### 皆さんの所属する組合は今回の回答に対して何か行動を起こしましたか？

7月1日に国労は、今回の期末手当に対する抗議行動を展開してきました。参議院議員会館での院内集会をはじめ、国交省・貨物本社・鉄道運輸機構への要請と宣伝行動を行い、貨物会社が抱える矛盾や困窮した社員の生活実態を訴えてきました。貨物本社の要請で対応した役員は会社の論理でしか物事を考えず、社員の生活など少しも考えていない印象を強く受けました。



分割・民営化から25年以上が過ぎても「社員と家族に犠牲を強いる会社運営」を行ってきた貨物経営陣の姿勢は何ら変わっていません。そのことは上記の表（JR各社の夏季手当）を見ても良く解かると思います。発足時に経営安定基金を受けているJR三島会社、一方、長期債務まで背負わされた貨物会社との格差が1ヶ月以上ついている状況を皆さんはどう思いますか？

今回も貨物労組は席上妥結を行っています。会社の施策に協力する労使協調組合とは言え、労働者の生活を顧みない会社の回答に席上妥結は無いんじゃないの？

本当に組合員のことを考えているのか疑問です。社員犠牲はいつまで続くのか・・・

### 超低額の夏季手当に対し組合が無利子貸し付けを実施!

国労は今回の夏季手当で各種ローン等の返済に困っている組合員に対して国労の各級機関が無利子貸し付けを行うことを決めました。詳細については支部・地本等の機関へお尋ね下さい。



この投光器学習版は国労東海本部のホームページにも掲載されています。

国労東海本部のURLは <http://www.kokurotokai.com> です!